分別解体等の計画等

以 太:			☑木道	- □ 歩 □ 鉄骨鉄筋コンク	リート浩「	↑鉄筋コン	′クリート造	î				
建築物の構造		□鉄骨造 □コンクリートブロック造 □その他()										
	築物に	建築物の状況	築年数 <u>35</u> 年、棟数 <u>1</u> 棟 その他()									
	する調 の結果	周辺状況	周辺は敷地場その他		_m	カのスペース	は、分別解体、原確保の方法を	記入にしま	ます			
				建築物に関する調査の		工事者	に実施す	る措置の)内容			
		作業場所	作業場その他	<u>t</u> ()		7					
		搬出経路	障害物 前面追 通学路 その他	道路の幅員 約 <u>8</u> m B ☑有 □無) ☑無	前面道路(作業中)	こ交通誘導員	を配置				
		残存物品	☑有□無	(家財道具)	工事着手までに発注者にて処分						
関	築物に する調	特定建設資材 への付着物	□有	□飛散性石綿 (吹付け石綿、石綿含有断熱	热材、保温材等)	大気汚染防止法・安全衛生法石綿則、 大阪府生活環境の保全等に関する条例						
及び工前	の結果 び 事着 実 を 措置	吹付けリシン、Pが該当する場合 ここに記入にしま	は、「	□非飛散性石綿 □石綿含有仕上塗材 使用 □石綿含有成型板等 使用 □その他 (に基づく届日 □届出済 □届出子 □届出対	定					
外		その他 (特定建設資材に 付着していな い、解体時に発 生する有害物質) 、天井材が該当す	☑有	□飛散性石綿 (吹付け石綿、石綿含有断素 ☑非飛散性石綿 □石綿含有仕上塗材 使用 ☑石綿含有成型板等 使用 □その他 (大気汚染防止法・安全衛生法石綿則、)大阪府生活環境の保全等に関する条例 に基づく届出について □届出済 □届出予定 ☑届出対象外							
場	合は、ここに記入にします											
		フロン□有		(業務用のエアコン・冷凍冷蔵	について具体的に記入にします							
				フロン 類が使われているもの) ✓ 無								
工	工程			作業内容	分別解体等の方法							
程ごとの	①建築設備・内装材等		建築設備・内装材等の取り外し ☑ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由(·用)					
作業内	②屋根ふき材		屋根ふき材の取り外し ☑手作業 □手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由(·用)					
容及び	③外装材・上部構造部分			外装材・上部構造部分の ☑有 □無	□手作業 ☑手作業・機械作業の併用							
解体	④基礎・基礎ぐい			基礎・基礎ぐいの取り壊し ☑有 □無	□手作業 ☑手作業・機械作業の併用							
方法	⑤その他 (コンクリート擁壁)			その他の取り壊し □手作業 ▽ 有 □無 ▽ 手作業・機械作業の併用			·用					
	工事の工程の順序			□上の工程における①✓その他(①→②→③→④					ため)			
内装材に木材が含まれる場合							①の工程における木材の分別に支障となる建設資材の事前の取り外し ☑可 □不可 特定建設資材だけでなく、全ての資材について記入にします					
	内装材に	ニ木材が含まれる	る場合	☑可 □不可 特定建	分別に支障とな !設資材だけでな	く、全ての資	材について記	入にします				
				☑可 □不可 特定建	分別に支障とな 設資材だけでな 物発生見込量に	く、全ての資	材について記	入にします				
建築		こ木材が含まれる		☑可 □不可 特定 建 不可 (廃棄	分別に支障とな 設資材だけでな 物発生見込量に 50 トン	く、全ての資 記入している <i>一</i>	材について記。合計以上の数	入にします :値となりま	きす)			
建築廃棄	物に用いる特定建		の見込み	☑可 □不可 特定建	分別に支障とな 設資材だけでな 物発生見込量に	く、全ての資 記入している <u></u> 発生	材について記	入にします :値となりま	きす))			
建廃棄物発生	奥物に用いる 特定建記 ごとの量 及び	かれた建設資材の量の	の見込み	☑可 □不可 <mark>特定建</mark> 不可 Ø (廃棄) 種類	予別に支障とな 設資材だけでな 物発生見込量に 50 トン 量の見込み	く、全ての資記入している発生□①□	材について記。 合計以上の数 が見込まれる	入にします 値となりま 部分(注	きす)			
建廃棄物発生見込	奥物に用いる 特定建記 ごとの量 及び	かれた建設資材の量の登録材廃棄物のの見込み	の見込み	✓可 □不可 特定遵不可 (廃棄種類✓コンクリート塊	予別に支障とな 設資材だけでな 物発生見込量に 50 トン 量の見込み 20 トン	く、全ての資記入している発生□①□□□	材について記 。 合計以上の数 が見込まれる 1② □3	入にします 値となりま 部分(注 ☑④	ます)) ② ⑤			
建廃棄物発生見	特定建建をおいる。 をおいる はいる はい	かれた建設資材の量の登録材廃棄物のの見込み	の見込み)種類	✓可 □不可 特定遵不可の (廃棄!種類☑コンクリート塊□アスファルト・コンクリート塊	予別に支障とな 設資材だけでな 物発生見込量に 50 トン 量の見込み 20 トン トン	く、全ての資記入している発生□①□□□	材について記。 合計以上の数 が見込まれる ② □3 ② □3		(大学) <u>(大学)</u> (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学)			